

2023 年度 春学期・第 1・第 2 クォーターの授業評価を終えて

心理社会学部長 内田英二

2023 年度 春学期・第 1・第 2 クォーターの学期末に実施された学生による授業評価アンケートの集計結果がまとまりました。ここにご報告いたしますとともに授業評価アンケートの実施にあたってご協力いただきました関係者各位に深謝申し上げます。

20 年度の春学期から web による調査方法に変更することになって 4 年目を迎えますが、今期の回答率でようやく 52%となりました。とはいえ、マークシートで行っていた時期のきわめて高かった回答率(90%超)からみますとまだまだといった感があります。

授業評価では各教員が担当する授業の内容や教授法を客観的に把握し、改善するための重要なフィードバックを得られることに加え、学生の理解度、興味関心や意欲などを知ることができます。また大学としてはカリキュラム全体の評価および改善に対しても授業評価が重要な示唆を与えてくれることから、毎学期の評価結果を分析し改善の方向性を検討しています。

また自由記述については、授業に関する感想にとどまらず建設的な意見を記してくれる学生が毎回みられます。それらの意見を授業内で教員に対して伝えてくれていると即時的な効果が期待できるのですが、アンケートの場合は教員が結果を確認するまでに時間がかかってしまいます。アンケートの説明文の最後のところには「なお、授業で気づいた点や要望等がある場合は、授業評価アンケートに記入するだけでなく、授業時に担当教員とコミュニケーションを取り、授業期間中に解消していきましょう。」と記していますが、学生が直接教員に意見を伝えることには大変勇気がいることは十分理解できます。したがって、そのような場合はこの自由記述欄を活用してください。

このように受講生の適切な評価、建設的な意見によって授業がより良いものとなり、また次学期あるいは次年度の受講生が大きな恩恵を受けることとなります。アンケートの回答についてあまり積極的ではなかった、という人も今後の本調査へのご協力をお願いします。